



## 通常国会閉会

参議院議員・薬剤師 本田 顕子

6月23日、第213回通常国会が閉会しました。

今国会では元日の能登半島地震の復旧・復興支援、次の大規模災害を見据えた体制づくりに関して活発な審議が行われたほか、物価対策・賃上げ対応、そして政治資金問題などが争点でした。

会期中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官でしたので、所属委員会での質疑の機会はありませんでしたが、政府答弁は衆参あわせて計9回行いました。また、公務として文部科学省関連の施設への視察をできるだけ行い、予算の執行状況や組織運営・事業活動に関する諸課題等を本省に持ち帰り、今後の施策の企画立案に生かしています。

自民党の厚生労働部会では、令和6年度の「3報酬改定」と「薬価改定」の方向性が決着した直後の1月の段階から、令和7年度に控える薬価中間年改定の取扱いを部会の最優先事項にするよう発言するとともに、紅麹使用食品の問題が生じた後の4月には、食品の安全と国民の健康を断固守ることに加えて、風評被害を生じさせないための情報発信の必要性を訴えました。

そして6月、政権の重要課題や次年度予算や税制改正などの足がかりとなる「骨太の方針2024」の政府原案に対して、薬局DX推進、中間年改定、費用対効果評価、抗菌薬等の産学官連携での開発についての修正を求めました。その後の政調全体会議および閣議決定された文書に意見の全てを反映できたわけではありませんが、関係者の皆様の声と私自身の政策に少しは近づけることができたと思います。

参議院議員として丸五年が過ぎました。薬剤師、薬業界及び薬学を取り巻く情勢が依然厳しくかつ今後も大きく変化・進化していく中、未来に進むには歴史を知ることが大切だと思います。

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」(オットー・フォン・ビスマルク元独首相)

偉人の言葉を自身に言い聞かせながら、国会閉会中も一つひとつ真摯に対応する毎日ですが、これからもよろしく願い申し上げます。



令和6年6月21日

国会閉会中における事案等の取扱いを議題とした、参議院「資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会」の散会后、神谷政幸議員とともに